



# 佐々木小

令和3年11月15日

第7号

佐々木小学校

新発田市則清 856

TEL.0254-27-2011

## 「えんぴつ」はおいしい???

### ～『行為の背景を考えることの大切さ』～

校長 齋藤 博敏

もし、我が子が「指」や「えんぴつ」を口にくわえていたらどうしますか？

- ①番 「やめなさい」「汚い」など、怒ってやめさせる。
- ②番 「指」や「えんぴつ」を噛むことの背景を考える。
- ③番 「指」や「えんぴつ」にカラシを塗る。

(選んでから以下を読み進めてください。)



実は、私が小学生の時、筆箱の「えんぴつ」には、全て歯形がついていました。授業中、「えんぴつ」を噛んでいたからです。「えんぴつ」はおいしく？噛んでいると安心しました。しかし、子どもの私には、「えんぴつ」を噛む理由など分かりませんでした。ただ、先生や親から注意された記憶はありません。そして、小学校を卒業する頃には、自然と噛まなくなりました。

子どもが口の中に何かを入れて噛むのは、不安を感じた際に、気持ちを落ち着かせたり、ストレスを発散したりするためです。その不安やストレスは、「親の過干渉や放任、厳格な躾などによる親子関係の不安」や「学校の勉強で、『難しい』と感じ、問題が解けない自分に対する不満」などからです。ちなみに、子どもが噛むものは「服の袖・えり・ひも」「消しゴム」など様々です。

さて、上記の①番から③番の対応についてですが、①番の「怒る」はNG。子どもは萎縮してしまい、余計にストレスを感じ、噛む行動がひどくなるケースもあります。見付けたら、何でダメなのかを優しく伝えてあげたり、お子さんの手を握って安心させてあげたりするとより効果的とのことです。②番の「背景を考える」は、大きな原因として考えられる『愛情不足』『不安』という背景を分析し、それらを取り除いてあげることが一番良い方法とのことです。③番の「カラシ」はどうか？カラシはダメですが似たような方法として、最近は、体に害のない苦味成分が配合されたものを塗った「えんぴつ」も開発されています。さらに噛むための「えんぴつ」キャップが売られているとのことです。



いずれにしても、何かに不安・ストレスを感じて「えんぴつ」を噛んでいた私に、もしあの時、周囲の人たちからしつこく注意をされていたら、私は大きく反抗し、ぐれていたことでしょう。「えんぴつ」を噛む私を見て、先生や親は何らかの対策を考えたのでしょうか。当時の先生、親の愛に感謝です。

# 感謝

前置きが長くなりましたが、子どもたちを見守る中で、何か変化があったら、その行為ばかりに目をやり注意するのではなく、その背景を考えながら子育てをしていきませんか。